

第9回 野津原中学校区適正配置地域協議会 会議要旨

日時：平成27年8月27日（木）19:00～20:30

場所：野津原市民センター大会議室

○出席者28名、欠席者2名

I 開会のことば

- ・秋吉副会長から開会のことば。

II 会長あいさつ

- ・分藤会長から開催にあたってのあいさつ。

III 議事

1 統合の時期・方法について

(1) 統合の時期

- ・統合の時期は平成29年4月もしくは平成30年4月の方向で協議していることを事務局から説明。
- ・統合に向けて今後予想されるスケジュールについて事務局から説明。

(2) 統合の方法

- ・以前は、西部小学校と中部小学校が統合した後に東部小学校と統合するといった段階的に統合という意見があったが、現在は、同時期に3小学校が統合する方向で協議が進んでいることを事務局から説明。

(3) 協議

<主な質疑応答・意見>

- 【委員】 今後予想されるスケジュールを聞いたが、平成29年4月の統合を目指すとしたら、平成28年度の1年間のうちに協議しなければならない内容が多くなるので、平成30年4月統合の方がいいと思う。
- 【委員】 今後、統合準備委員会などで協議や作業が多くなるので、平成30年4月統合がいいと思う。スピード感を持った方がいいという意見もあったが、平成28年度の1年間で間に合うのかなという心配がある。
- 【委員】 平成29年4月に統合した方がいいと言ったわけではなく、前回の協議会で平成33年度とか平成35年度という意見が出たのでスピード感を持った方がいいと言った。平成29年度か平成30年度に統合という話であれば異論はない。

【委員】話し合いをした結果、30年度の統合を目指したいと思っている。統合までの2年間で時間をかけて、より良い要望を出して行きたい思う。

【委員】学校で通常のPTA活動を行いながら統合に係る協議を進めていくことになるので委員の負担も大きいだろうし、植田地区のPTAや大分市のPTAと協議することもあるだろうから1年で協議が終わるとは思えないので平成30年4月統合がいいと思う。

【会長】委員みなさんの意見から統合の時期については平成30年4月ということで確認する。

○統合の時期は平成30年4月とし、野津原中部小学校と野津原西部小学校の2校を、野津原東部小学校に統合することを確認した。

2 地域協議会としての要望について

(1) 各校区のアンケート結果等について

- ・アンケート結果の中から主な意見や要望を小学校区ごとに報告。

(2) 地域協議会としての要望（案）について

- ・これまでの協議をもとに、地域協議会として考えられる要望案を事務局から説明。

(3) 協議

<主な質疑応答・意見>

【委員】小学校から中学校に進学する時に野津原以外の中学校に行く子どもが多いという話があったが、その原因は隣接校選択制ではないかという意見がある。隣接校選択制について要望を出したいと思う。

【事務局】現状は、野津原以外の学校に行っている人のすべてが隣接校選択制で行っているわけではない。学区外就学制度や私立・県立などの市立以外の学校に行っている人もいる。

【委員】それらの制度がひとくくりにされて隣接校選択制と認識されているかもしれない。

【委員】それらの制度に制限をかけることはできないか。

【専門委員】大分市全体で同じ条件で実施している制度なので、機会を均等にする、公平性を確保する、といった観点から野津原校区だけ制限をかけることは難しい。

【委員】野津原の小中一貫教育は、現段階では連携型だけど将来的には併設型や施設一体型で実施するというプランができればいいなと思う。

【委員】やはり特色ある学校づくりが必要だと思う。学校教育に関する要望や先生の負担を軽減する要望などをもっと出したいと思う。

【委員】野津原なら学習レベルがあがりますよ、といったような特色を持たせることができたらいと思う。それに併せて伝統や風習も学べるといいと思う。そうすることで学区外へ行く子どもが減ることになるかもしれないので、そういった要望にしたい。

【委員】そのような特色を持たせることができれば、逆に学区外から野津原に子どもが来るようになることもあると思う。

【委員】今の学校の思い出のために、例えば校庭で人文字を作って航空写真を撮ってそれを下敷きにしてあげるとか、手形で校章を作ってそれを入学式や卒業式で使うとか、思い出を作る行事をしてファイルにしてあげるとか、そういった時の費用はPTAとか学校の負担となるのだろうか。

【専門委員】航空写真は教育委員会で撮影している。ただ、その写真を子どもたち一人ひとりに配ることについては、公費の負担区分とはならないと考えている。地域で実施する閉校記念事業への補助金を式典や記念碑、記念誌、写真などに活用することができる。

○地域協議会としての要望に関しては、次回の協議会で引き続き協議し意見をまとめることを確認した。

3 その他

(1) 中学校の小規模特認校制度について

- ・竹中中学校が27年度から3年間、試行的に実施している制度について事務局から説明。特色のある教育活動の例を紹介。

(2) 第10回地域協議会の開催について

- ・地域協議会の次回の日程について事務局から説明。

○第10回地域協議会を10月15日(木)の19:00~20:30、野津原市民センター大会議室で開催することを確認した。

IV 閉会のことば

- ・佐藤副会長から閉会のことば。